

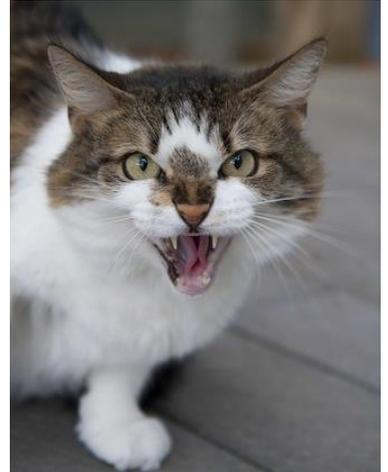
甲状腺機能亢進症とは

甲状腺から分泌されるホルモンが過剰になる疾患です。甲状腺はヒトと同じように頸部にふたつ存在しています。甲状腺ホルモンは全身の代謝や活発さをコントロールしています。高齢の猫ちゃんに多い疾患です。

《症状》

- 食欲はあるが痩せていく。
- よく鳴くようになった。
- 攻撃的になったり目がギラつく。
- 毛艶が悪くなった。
- よく吐く、下痢をする。
- 高血圧
- 心拍数が多い 等々

食欲があり活発に動き回るため、「年の割には元気だよね」と気付かれにくい疾患です。



《治療》

◆ 内服薬

甲状腺ホルモンの分泌を抑える飲み薬で治療します。ホルモンの数値や症状などから薬を飲ませる回数や量を調整していきます。お薬の量が適切かどうか、定期的な血液検査や診察が必要です。

◆ 食事療法

甲状腺ホルモンの材料となる『ヨウ素』を下限ギリギリまで制限した療法食があります。どうしてもお薬が難しい子で選択されますが、その療法食以外の物を食べてはいけないという厳しい制限があります。

◆ 外科手術

甲状腺機能亢進症を起こしている原因が甲状腺の悪性腫瘍である場合や、投薬が困難であったり、内科的治療で効果が見られない場合などに外科手術が検討されます。

甲状腺を摘出する手術となりますが、両側の甲状腺を摘出した場合には、甲状腺ホルモンを分泌することができなくなるため、甲状腺ホルモン薬の投与を生涯行っていくことが必要となります。取り出した甲状腺が片側だけの場合には甲状腺ホルモン薬の投与を行う必要はありません。

《お家での注意点》

■ ヨウ素の多い食べ物に注意

せっかく治療をしてもヨウ素を過剰に摂取してしまうと治療を阻害してしまう可能性があります。ヨウ素が多い食材は海藻や魚介類です。海苔やお刺身は猫ちゃんが好む食べ物でもありますが注意しましょう。

■ 慢性腎臓病

同じく高齢の猫ちゃんに多い疾患である慢性腎臓病を併発することもあります。症状も似ているため、サインを見つけることは難しいかもしれません。定期健診時に一緒に腎臓の血液検査も検討してみてください。